

第2回図画工作科研修会（実技研修） 報告

令和7年8月6日 会場 篠原小、内野小、河輪小、西都台小

実技研修をおこないました！

第2回研修会では、4会場に分かれて実技研修を行いました。教科書の題材をもとに、活動時に予想されるであろう児童のつまずきや、支援が必要になりそうな場面を想定しながら製作に取り組みました。その後の話し合いでは、児童の表したい思いに寄り添うための支援の仕方や各学年の系統性、導入や評価の仕方などについて活発な意見交換が行われました。

【2・6部会】篠原小会場

篠原小会場では、2年生「おはなしから生まれたよ」3年生「ことばから思い浮かべて」の題材を取り上げ研修しました。1年生～6年生まで各学年で設定されている、物語や詩から想像した場面を表現する題材です。各学年の系統性を捉えながら作品を製作し、導入や評価の仕方等について話し合いました。



【4・5部会】内野小会場

内野小会場では、4年生「おもしろダンボールボックス」の題材を取り上げ研修しました。段ボールの切り方を工夫し、蓋の開き方や中に入れる物を考えながら製作しました。製作後の事後研修では、段ボールの切り方仕切りの作りかたなど児童がなやみそうなところや、難しいと感じそうなところなどを話し合いました。



【1・3部会】河輪小会場

河輪小会場では、6年生「わたしの大切な風景」の題材を取り上げ研修しました。生活や身の回りの大切な風景を思い浮かべたり見たりして、表したい風景や思いに合う形や色、表し方を考え、絵で表現する題材です。教科書のQRコードの資料や関連した他の児童の作品を参考にしながら、自分で構想を考えさせる指導・手立ての方法や評価の仕方等について話し合いました。



【7・8部会】西都台小会場

西都台小会場では、5・6年下の教科書「受けつがれてきた形」「もようから見つけて」の題材を取り上げて研修しました。「日本各地で昔から受けつがれてきた形や色、イメージ」というテーマの鑑賞を行い、次に「くり返しのもようのよさ」を生かした作品製作を行いました。製作後は、授業の展開の仕方や、使う材料、参考資料の提示の仕方などについて話し合いました。

